

主題名「相手の立場に立って」 【内容項目 親切・思いやり】

教材名「みんないっしょだよ～黒柳徹子」

6年

教材の活用について

黒柳徹子さんが、ユニセフ親善大使を務めることになった原点は、自身の小学校の校長先生の「いっしょだよ。みんないっしょにやるんだよ。」という言葉であった。教材には、見る・聞く・話すことが不自由な人との関わりと、世界各地にある戦争や貧困、病気等で親を失った子供たちの施設を訪問したときの触れ合いが書かれている。教材を通して、『みんないっしょ』という言葉に込められた黒柳徹子さんの思いから、主題に対する考えを深めていく。

この授業で育てたい児童の心

相手に対する思いやりの心を持ち、親切にすることは、よりよい人間関係を築くうえで求められる基本的な姿勢である。相手の置かれている立場や相手の気持ちを考えることを通して、相手のことを親身になって考えようとする態度を育てたい。

授業の流れ(学習活動)

- 1 黒柳徹子さんについて知っていることを発表する。
- 2 「みんないっしょだよ」を読んで、親切・思いやりについて話し合う。
- 3 自分のこれまでを振り返って考える。
- 4 教師の説話を聞く。